

令和6年度「秋の里山で身近な生き物を探そう！」

日 時 令和6年11月9日（土） 午前9時00分から

行 程 一宮支所駐車場 集合 → はたがしらやま 旗頭山（旗頭山尾根古墳群） → 一宮支所駐車場 解散

当日の様子



今回の「秋の里山で身近な生き物を探そう！」は旗頭山で開催しました。

当日は6人が参加して、東三河自然観察会の天野保幸先生達と旗頭山周辺に生息する動物や植物などを観察しました。一宮支所駐車場に集合して送迎車に乗り、金沢町にある旗頭山へ向かいました。金沢墓園の駐車場で降車すると旗頭山の入口へ向かって歩きました。今年6月には初夏の旗頭山を観察していますが、今回は秋を迎えた旗頭山を観察しました。ムラサキセンブリやヤナギノギクなど秋に花咲く植物をたくさん見ることができました。

旗頭山の地質は蛇紋岩じやもんがんからなっていますが、蛇紋岩にはマグネシウムや鉄が多く含まれていて植物の水の吸収を妨げるため、旗頭山では大きな木が育ちにくく草原のようになります。旗頭山の草原では定期的な草刈りも行われており、この山でみられる自然は人が手を加えることで保たれていることを天野先生が教えてくれました。先生によれば、最近では里山に人の手が入らなくなっており、このような人の手によって維持されている自然環境は少なくなりつつあるそうです。



↑ 旗頭山で見つけたキノコ（種類不明）を観察



↑ 蛇紋岩とムラサキセンブリ



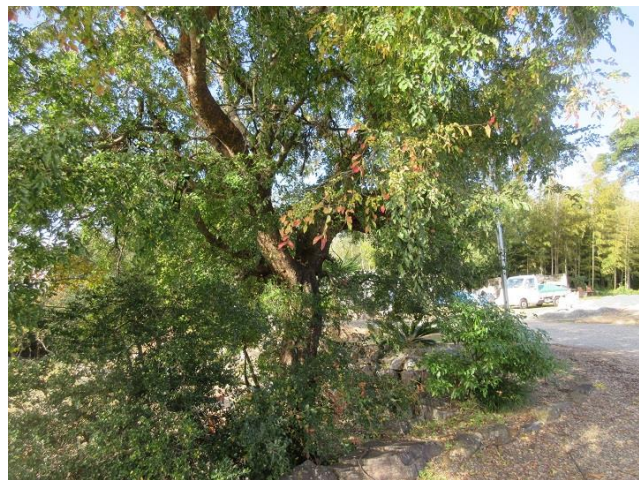
↑ヤマラッキョウ



↑アキノキリンソウとムラサキセンブリ



↑ヤナギノギク



↑紅葉が始まったアキニレ

観察した主な植物等

アキニレ、アキノキリンソウ、イシクラゲ、イチョウ、オオニシキソウ、オガルガヤ、オミナエシ、ガガイモ、キダチコンギク、ケイトウ、コガンピ、コセンダנקサ、サフランモドキ、サルトリイバラ、サワヒヨドリ、スズカアザミ、ススキ、スズサイコ、スズメウリ、セイタカアワダチソウ、ツリガネニンジン、ツルボ、ヒャクニチソウ、マツ、ムラサキセンブリ、ヤナギノギク、ヤマハッカ、ヤマラッキョウ、ワレモコウ 他

観察した主な動物

アカズムカデ、ウラナミシジミ、チャバネセセリ、ツマグロヒョウモン、テントウムシ、ナガコガネグモ、ホオジロ 他

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・菌と他の植物の共生の話が特に面白かった。
- ・地質の特殊性から植生の違い等わかり、おもしろかった。身近な植物もよく見てみようと思います。

などのご意見をいただきました。